

第1回 岡山沿岸海岸保全基本計画（改定）検討委員会 議事要旨

日 時：令和7年8月26日（火）13:30～15:30

場 所：岡山コンベンションセンター2F 展示ホール

出席者：佐藤委員長、近森委員、吉田委員、西川委員、宮崎委員、徳田委員、西山修委員

議事内容：1. 海岸保全基本計画改定の概要

2. 岡山沿岸の特性

3. 将来気候下における外力設定の考え方

4. 今後の検討方針

【議事への主な意見】

○設計外力の説明など分かりにくい内容が多く、資料の作成について、説明文やイラストなどを工夫し理解しやすい資料にした方がよい。

○将来的に海面が上昇すると砂浜が現在よりも消失することが危惧されるため、希少種の生息地など代表海岸において、海岸線の変化量を検証し、提示してほしい。

○海岸の侵食について、世界中の海面が上がる中で現行計画のように現状の汀線を保全・維持することは無理があることから、改定方針について今後の検討委員会で議論したい。

○高潮被害の軽減にはハード対策のみならずソフト対策についても必要であることから、今後の計画に盛り込んでほしい。

【その他意見に対する回答事項】

○設計波浪に関して、国土交通省・農村振興局の所管と水産庁の所管の海岸では波高の設定基準が異なっているが、所管省庁により背後地の状況がそれぞれ異なることから、安全水準などの考え方も異なる。

○低頻度極端現象と高潮浸水想定区域図の関係について、どのように理解したらよいかと意見があつたことから、下記説明を補足した。

- ・平成16年台風第16号規模の台風が、紀伊水道方面から岡山に来襲した場合、非常に大きい潮位偏差となるが、このコースは全台風に占める割合が低く、かつ台風の規模も小さくなることから、この結果は採用しない。
- ・このような低頻度の現象についても、別途作成している高潮浸水想定区域図には反映されており、ソフト対策で対応しているということを示している。

【委員長とりまとめ】

○今回の検討委員会では、設計外力の変化率が決定したが、海岸保全基本計画の改定内容について今後議論の必要性がある。